

令和6年度相模原市自然環境観察員制度
全体テーマ調査
ツバメの巣分布調査の手引き



エコパークさがみはら

(相模原市立環境情報センター)

はじめに

葉桜の季節となり、独特の細長い尾で風を切り、ツバメたちは民家の軒下や駐車場の屋根、ビルの壁などに、巣の材料となる泥や枯れ草をせわしなく運んでいます。

相模原で見られるツバメのなかまの多くは遠くフィリピンやマレーシアなどから日本に渡ってきて、ヘビや大型の鳥など外敵から雛を守るために、人間の生活圏に巣を作る特徴が知られています。雛の餌となる昆虫が豊富な春から夏に巣を作り、秋の終わり頃、再び南の島へ帰っていきます。親ツバメは一日に昆虫を数千匹近く捕まえて、雛に餌として与えると言われており、古来より益鳥として人々に親しまれてきました。

しかし、都市化が進行して巣材の泥の確保が難しくなったり、親鳥や雛が落とすフンが嫌われて巣が撤去されたり、カラスに襲われて繁殖に失敗したりするなど、ツバメの繁殖環境が悪くなっていると言われています。

平成13年（2001年）から開始した相模原市自然環境観察員制度の全体テーマ調査の皮切りとなったのが「ツバメの巣分布調査」です。その後、平成18年、平成26年、平成31年（2006年、2014年、2019年）にも実施されました。

風を切り裂き優雅に青空を舞うツバメたちは今、どのような環境で巣を作り雛を育てているのでしょうか、はたして本当に相模原のツバメは少なくなったのでしょうか、調べてみましょう。

★全体テーマ調査を行えない方へ

ご体調やご都合で全体テーマ調査を行わない方は早めにご連絡いただくと助かります。皆様それぞれに担当メッシュの割り当てを行っています。早めにご連絡いただければ、別の方がそのメッシュを調査できるかもしれません。また、担当メッシュは、基本的には自宅近くとそれ以外の場所を1か所ずつ割り当てるようにしています。交通手段などの関係で調査できないメッシュがある場合も、調査できない旨のご連絡をお願いします。

~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~・~~~~~

### ★追加で調査を行える方へ

割り当てた2か所のメッシュに加えて調査可能な方もご連絡ください。ぜひ、担当者がいないメッシュの調査を行ってください。追加調査をしていただける方を大募集中です！メッシュの割当状況については、「令和6年度全体テーマ調査全体地図（メッシュ割当状況）」をご覧ください。藤野、相模湖、青野原、青根方面はほとんど担当者がいません。

協力：相模原市立博物館学芸員 秋山 幸也氏

参考文献：『山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥』（叶内拓哉他,1998）

# 1. ツバメの巣分布調査について

## (1) 目的

相模原市域におけるツバメの巣の分布状況について把握することを目的とします。

## (2) 調査期間

令和6年5月10日（金）～6月30日（日） 提出期限：7月15日（月）

## (3) 調査範囲

相模原市内全域

## (4) 調査について

ツバメ（ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒメアマツバメ）の巣の有無を確認する調査です。

## (5) 調査票の記入方法

- (ア) 調査記録票に、メッシュ番号、調査者の氏名を記入してください。
- (イ) ツバメの巣を見つけたら調査記録票の確認場所（通し番号 [1、2、3、・・・]）、日付、ツバメの種類、高さ、建物種類、建物素材、補助、利用状況を記入してください。
- (ウ) 見つけた場所をメッシュ地図に記入してください。地図の確認した地点に×印と調査記録票の通し番号を記入してください。

|                                |      |              |           |             |             |           |             | メッシュ番号             | N 2 1 |      |
|--------------------------------|------|--------------|-----------|-------------|-------------|-----------|-------------|--------------------|-------|------|
| 令和6年度相模原市自然環境観察員 ツバメの巣分布調査 調査票 |      |              |           |             |             |           |             |                    |       |      |
|                                |      |              |           |             |             |           |             | 調査者                | 環境    | エコ太郎 |
| 確認場所                           | 日付   | (1)<br>ツバメ種類 | (2)<br>高さ | (3)<br>建物種類 | (4)<br>建物素材 | (5)<br>補助 | (6)<br>利用状況 | 備考                 |       |      |
| 1                              | 4/14 | イワツバメ        | 4階        | 5           | 3           | 3         | 2           | つがいで確認。            |       |      |
| 2                              | 5/10 | ツバメ          | 3m        | 9           | 4           | 1         | 1           | 雛が3羽おり、板で補助がしてあった。 |       |      |

### (エ) 各項目の記入ルール

|           |                                                                                                                           |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 確認場所      | 確認した巣に通し番号 [1、2、3、・・・] を付けてください。後日、同じ巣を観察して利用状況などが変わっていた場合は、同じ番号を記入してください。同じ巣で4月から7月にかけて2回産卵、育雛することも多いです。                 |
| 日付        | ツバメの巣を確認した日付を記入してください。                                                                                                    |
| (1) ツバメ種類 | 確認したツバメの種類 「ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒメアマツバメ」、不明の場合は「不明」と記入してください。また、現在使われていない巣があった場合にも記録し、【(6) 巣の利用状況】で「3. 使われていない古巣」を選択してください。 |
| (2) 高さ    | ツバメの巣がある場所の、地上からのだいたいの高さをメートル (m) で記入、マンションやビル等の高層階の場合は、階数を記入してください。                                                      |

|          |                                                                                         |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| (3) 建物種類 | ツバメの巣を確認した建物の種類を、【(3)建物の種類】から選択し、番号で記入してください。該当しない場合は「9. その他」を記入し、(3)の欄に建物の種類も記入してください。 |
| (4) 建物素材 | ツバメの巣を確認した建物の素材を、【(4)建物の素材】から選択し、番号で記入してください。該当しない場合は「9. その他」を記入し、(4)の欄に建物の素材を記入してください。 |
| (5) 補助   | 確認したツバメの巣に、板やバケツなどの人間による補助の有無を、【(5)人間による補助の有無】から選択し、番号で記入してください。                        |
| (6) 利用状況 | 確認したツバメの巣の利用状況を【(6)巣の利用状況】から選択し、番号で記入してください。                                            |

- (オ) 調査を行いツバメの巣が見つからなかった場合は、日付を記入してツバメ種類欄に「なし」と記入してください。「調査したが発見できなかった」ことも重要な記録です。
- (カ) 備考欄には、その調査地点の情報として記録しておきたいこと、気づいたこと等を記入してください。
- (キ) メッシュ全体で気づいたことや印象などがあればメモ欄に記載してください。
- (ク) 調査記録票はメッシュ地図毎に記入してください。
- (ケ) 可能な範囲でメッシュ地図に歩いたルートを記入してください。

### (6) メッシュ地図 (A4カラー地図) の記入例

- メッシュ地図の赤枠内が調査範囲です。
- 市境を含んだメッシュの場合でも、市外の調査は不要です。
- ツバメの巣（現在使われていないものも含む）を確認した場合には、確認した地点に「×」印と、調査票の確認場所の欄に記入した通し番号を記入してください。

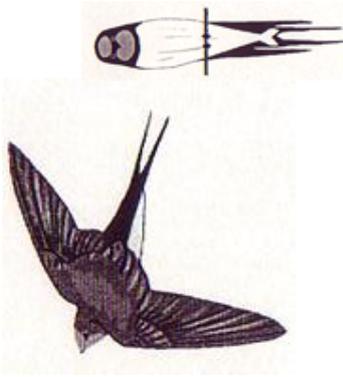
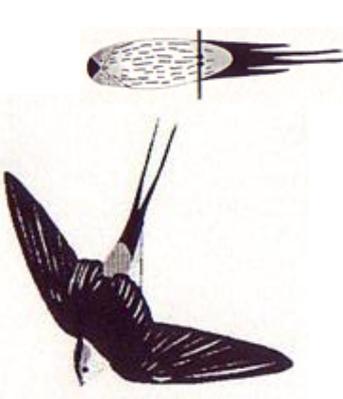
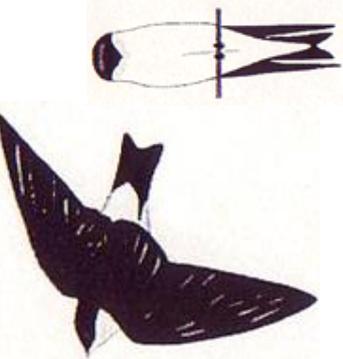
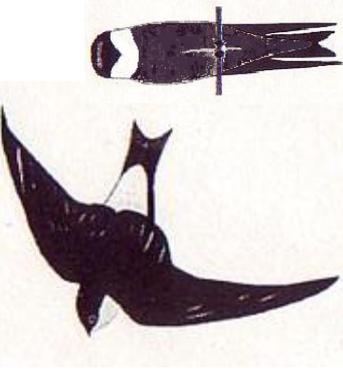
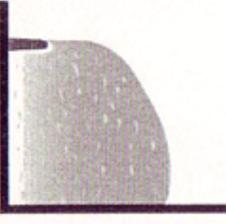


### (7) 担当メッシュ外で見つけた場合 (任意調査) について

各自の担当メッシュ以外でツバメの巣を見つけた場合にもぜひご報告をお願いします。その場合は、「任意調査票」に記入して提出してください。

「見つけた場所」欄は、集計時にメッシュが特定できるように、目印となる建物名や住所を記入するか、メッシュ番号を記入してください。

(8) 調査対象のツバメについて

| 調査対象種                                                                               |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  |                                                                               |                                                             |                                                                                     |
| <b>種名</b>                                                                           | <b>ツバメ<br/>(ツバメ科)</b>                                                                                                                                            | <b>コシアカツバメ<br/>(ツバメ科)</b>                                                                                                                     | <b>イワツバメ<br/>(ツバメ科)</b>                                                                                                                                              |
| <b>種の特徴</b>                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最もよく見かける種</li> <li>・ドとおでこが赤く、尾が長い。</li> <li>・お腹が白い。</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・腰と目の後ろ部分が赤茶色で尾が長い。</li> <li>・ツバメよりもやや大きく、ゆったりと飛ぶ</li> <li>・お腹と胸にあわい縦斑がある。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドと腰の部分が白く、尾が短い。<br/>(イワツバメとの区別の方法)</li> <li>・お腹が黒い</li> <li>・羽が長い</li> </ul>                                                 |
| <b>巣の形</b>                                                                          |                                                                              |                                                           |                                                                                    |
| <b>巣の特徴</b>                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店や住宅の軒下、歩道橋、駅などの人工構造物に作る。</li> <li>・1つの建物に1～数个</li> <li>・材料は泥と枯れ草。</li> <li>・昨年の巣を補修して使う場合がある。</li> <li>・お碗型</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工構造物に作る。</li> <li>・木造の建物よりもモルタルやコンクリートの大きな建物を好む傾向がある。</li> <li>・材料は泥と枯れ草。</li> <li>・とつくり型</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イワツバメやコシアカツバメの巣を奪ったり、古巣を利用することが多い。</li> <li>・自分でお碗型や筒型の巣を作ることがある。</li> <li>・出入りに枯れ草や羽毛をつける。</li> </ul> <p>他のツバメの巣を利用した場合</p> |
| <b>鳴き声</b>                                                                          | ・チイチュロリ、チュリチュリ、ジュリ                                                                                                                                               | ・ジョイジョイ、チュリチュリ、ジョイジョイ (太く濁った声)                                                                                                                | ・チーチーイー(とまっているとき)<br>・チュリリ、チュリリ(飛んでいるとき)                                                                                                                             |

●ツバメ（ツバメ科）

全長 17cm

・**巣の外観**…民家や商店街、駅など、人の出入りの多い場所の軒下につくる。お椀のような形。天井にはくっついていない。

・**成鳥の外観**…頭から背中にかけて光沢のある紺色、羽には青色や緑色の光沢がある。額と喉の赤茶色が目立つ。尾羽ははっきりとした燕尾で先が細長い。



撮影：秋山幸也



撮影：秋山幸也

●コシアカツバメ（ツバメ科）

全長 18.5cm

・**巣の外観**…民家やビル・マンションにつくることが多い。壺を縦に半分にして壁と天井につけたような形。

・**成鳥の外観**…頭からの上面は黒く、頭の上部和背中、肩羽には紺色の光沢がある。目の後方から首の後ろは赤茶色。喉から体下面は薄い茶を帯びた白色で、黒褐色の縦斑があり、下から見るとやや濁った色に見える。尾羽は深く切れ込んだ燕尾で、先は細長い。ツバメよりやや大きく見える。



撮影：自然環境観察員 大澤真



撮影：自然環境観察員 大澤真

●イワツバメ（ツバメ科）

全長 13cm

- 巣の外観…ビルや橋の下に集団でつくる。壁と天井にくっついていて、出入口の穴がーか所空いている。コシアカツバメの巣と似ているが、出入口は細長くない。
- 成鳥の外観…尾羽が短いので、全体的にずんぐりして見える。頭からの上面は黒く、光沢はあまりない。頭の付け根前側、頬から体下面はきれいな白色。クチバシは黒い。足には指の先まで白い羽毛が生えている。尾羽はわずかに切れ込んでいる程度。



撮影：秋山幸也



撮影：秋山幸也

●ヒメアマツバメ（アマツバメ科）

全長 13cm

- 巣の外観…主にイワツバメの巣を奪い取る、又は古巣を利用することが多く、入口に羽毛を付けるのが特徴で、親鳥がいなくても識別できる。
- 成鳥の外観…喉と腰だけが白っぽい。全体に黒味の強い黒褐色だが、頭は少し淡い。喉は、くすんだ白色で、鎌型の細長い翼をしている。



撮影：秋山幸也



撮影：秋山幸也

## 2. こんな場合には？

Q1. ツバメの巣、または親鳥を確認したが種類が分からない。

A1. 不明と記入してください、写真が撮影できたら、エコパークさがみはらに送ってください。

Q2. ツバメの巣が見つからない。

A2. 巣を確認できなくても調査票を必ず提出してください。「巣の確認なし」という結果も大切です。また巣を発見するまで調査担当地をくまなく探す必要はありません。

Q3. 調査票が足りなくなった。

A3. エコパークさがみはらのホームページ内の自然環境観察員のページからダウンロードできます。手引きもダウンロード可能です。インターネットを利用できる環境が無い場合はお電話でご連絡ください。

Q4. 自分の担当地以外の場所も調査したい。

A4. エコパークさがみはらまでご連絡ください。

Q5. 調査ができなくなった。

A5. 早めにエコパークさがみはらまでご連絡ください。

## 3. 調査結果の提出について

- ・調査が終了したら、調査記録票、メッシュ地図、アンケートを返信用の切手を使用してエコパークさがみはらまで送ってください。 **提出期限：7月15日（月）**
- ・調査を行ってツバメの巣を確認できなかった場合でも必ず調査記録をご提出ください。「調査したが発見できなかった」ことも重要な調査結果です。

**※料金不足でも、そのまま投函してください。超過分は、こちらで負担いたします。その際、封筒に差出人の住所、氏名は記入しないでください。**

送付先：〒252-0236 相模原市中央区富士見 1-3-41 エコパークさがみはら

## 4. 野外調査にあたっての注意点

- ・調査は、可能な範囲で結構です。危険を冒す調査や無理はしないでください。「自然環境観察員登録証」を携帯して、帽子の着用、水分補給など熱中症対策を行ってください。
- ・中学生の方は、自宅から離れた調査地にはなるべく一人で行かないでください。また、調査に行くときは家族に行先を知らせてください。
- ・工場や農地など、民有地に無断で立ち入らないでください。学校などの敷地内で調査する際は、管理者に許可を得てから敷地に入るようにしてください。（事前調整など個人で対応しきれない場合は、エコパークさがみはらにご相談ください。）
- ・双眼鏡を使う場合は、人混みや民家などに注意し、誤解を招く使い方をしないでください。

事故やケガに気をつけて、楽しんで調査を行ってください。

調査の方法や手引きなどでご不明な点があればお気軽にご連絡ください。



(相模原市立環境情報センター)  
〒252-0236 神奈川県相模原市中央区富士見1丁目3番41号  
TEL 042-769-9248 FAX 042-751-2036  
MAIL ecopark-sagamihara@mdlife.co.jp  
WEB www.ecopark-sagamihara.com

